

# 第104回日本陸上競技選手権

開催日：2020年12月4日（金）

場所：ヤンマースタジアム長居

種目	名前	学年	記録	着順	備考
3000mSC	西出 優月	3年	9分55秒01	5	自己記録 10分05秒00を更新 関西学生記録 10分00秒65を更新

## 【山本コメント】

本大会は、陸上競技の本年度チャンピオンを決める国内最高峰の大会であり、高く設定された標準記録を突破した選手のみが出場することができる。当初は6月開催の予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期され、長距離種目の選手権のみがこの時期に開催されることとなった。レースは低温で微風という、長距離競技にとって絶好のコンディションの中で行われた。本学から西出が2年連続で出場した。

西出は、序盤から先頭集団で積極的にレースを進め、中盤、終盤もペースを落とさず順位争いに絡んで走りきり、自己記録を大きく更新して5位に入賞した。初出場だった昨年は、予選を突破して決勝に進出することで目標達成だったが、今年はさらに力をつけて、順位もタイムも昨年よりも上位で勝負することができた。記録的にはこれまでの関西学生記録を更新するものであり、自身としても初の9分台を達成した。これを自信にして、来年はさらに上位、好タイムを目指して挑戦してほしい。

本大会は、コロナによる今年の困難な状況において、多くの方々のご理解、ご協力によって開催するに至った。すべての選手がそのことに感謝の思いを持って走り、集中力を発揮し、観客の手拍子があり、好コンディションにも恵まれ、日本記録が複数の選手によって更新されるなど非常にレベルの高い大会となった。選手たちは序盤から積極的にハイペースに挑戦し、中盤以降のきつくなったところでは、ライバル選手と順位を競い合いながらもお互いを鼓舞しあって共に好記録に挑戦するという、長距離競技の魅力が存分に発揮された大会だった。